



今月の話題：新型コロナ感染対策が混乱している。ワクチン入手の遅れ、量の不足、接種手順、更にはワクチンの異物混入まで発生した。注意深くニュースを確認すると、**ブレークスルー感染**の警告がある。これはワクチン2度の接種後2週間経過後に再び感染することだそうだ。イスラエルでは2回接種後半年間前後経過してこのブレークスルーが増えてきて3回目の接種が始まっているそうだ。日本政府もしっかりして欲しい（伊藤誠三）

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・9月は通常通りに事務所を開けるかと期待しましたが緊急事態宣言が9月12日までのところ、さらに延長しそうです。10月は開けるか今から心配です。

□ 建築部会：(岡本直 記)

・コロナ感染拡大の影響を受けて、東京都はマンション耐震セミナーを中止、都内のマンション管理組合宛てに耐震化に関する通信を直接届ける方法に転換、その原稿案を小鹿さんと岡本で作成した。

・小鹿さんー東京で発生が懸念される大地震とは
・小鹿さんー大地震による旧耐震マンション建物の被害
・岡本直ー耐震診断はなぜ必要か、どう取り組むか
オンライン寺子屋の予定:第5回 10月23日(土)講師、坂本先生「木造住宅の地震被害とその耐震安全性の確保」多くの会員のご参加を期待します。

・第6回以降の予定、耐震化がなかなか進まないと言われる「戸建て住宅の耐震化促進の一助として、各種の補強工法を文献やアンケートにより調査した結果を寺子屋で紹介して、いろいろな補強の考えかたがあり、個々の事情に合わせた適切な選択が可能であることを知ってもらえるよう、建築部会内に(仮)木造耐震WGを設け準備中。
・練馬区耐震セミナー：8/21(土)に練馬区は耐震セミナーを開催、「～東日本大震災から10年～進めよう！耐震診断と補強」のテーマで岡本直が講師をつとめた。

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

1. 技術支援事業：・GT南桜井タウンハウス大規模改修支援 全22棟84戸のうち3棟/月平均で工事中。工期：令和3年5月17日～令和4年3月末日、2. ウッドランド辰巳台第4回中大規模改修支援

工事状況 8月27日工事完了予定で、9月18日AM管理組合竣工検査、10月第1週引き渡し予定、

・タウンハウス稲毛 長期修繕計画支援 8月22日：前回の5年保証への(住民アンケート試案)打ち合わせ、及び、(リフォーム審査相談)住戸の躯体状況確認打ち合わせ(9月6日PM立ち合い)

2. 調査研究事業：・林野庁補助事業「CLT建築物等の設計者育成事業」…企画開発・設計者等のための「CLT WEB講座」2021…本年は特別公演：「隈研吾氏 CLT を語る」。

・令和3年度林野庁補助事業・「木材産業・木造建築活性化対策のうち、大径化した原木等を生かした利用の拡大」UnionFrame 令和3年度事業の柱となる2課題について・UnionFrame 構成材拡充、・UnionFrame 設計合理化、

○次回部会予定：9月16日(木) 16:00～17:30(ZOOM)

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・デルタ株の猛威で、収束しそうだったパンデミックが

世界を混迷させているが、日本の政局だけでなく世界が大きく変わり、新たな価値観の社会に移行する可能性が予感される。バイデン政権のパンデミック復興政策は中低所得層の生活立て直しを基本とした内容に385兆円を投じるようである。一方、日本では、経済バブル崩壊直前のような“オフィスの巨大ビルへの建替え”が猛烈な勢いで進行中である。今日の東京のオフィスの空室率が6～7%（16棟に1棟が空きビルの状態に相当）という危機的状況にもかかわらず、誰も止められないようである。こういう時期には、不要不急の事業を先送りし、立ち止まるのが何より肝要と思われる。そうした中、全国各地のNPOが空き家や有休施設を活用し、認知症が懸念される高齢者や生活困窮の子育て世帯を支える取組が“画期的”な展開を見せ始めている。不安感が募る高経年マンションの居住者に、今こそ“ストック活用”の効用を啓発し、不安や孤立の解消に役立ちたいと思う次第である。

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・連日発表される東京都の新型コロナ感染者数が、前週、漸く止まったものの、隣接する神奈川、埼玉では増加傾向が止まらない状況です。

・9月12日までの緊急事態宣言の解除に期待し、休止中の支援活動も年内終了予定の案件については、再開予定。

・8月度まで、ソフトタウン武蔵野の工事監理が終了し、引き続き長期修繕計画見直し業務へと移行します。CFすずかけ台駅前の工事監理、ハイツ上鷲宮の業者選定、SV戸塚およびLG百合丘の改修設計と国交省補助事業「長期優良住宅化リフォーム推進事業」への申請支援業務が順調に、或いはタイトなスケジュールで動いています。

・新規受託物件のパークハウス本郷真砂は、調査結果報告会がコロナ禍影響で未開催。6月上旬に契約したファミリー春日部式番館(リピート物件)は、7月中旬に劣化診断調査を実施したが、調査結果報告会会場が確保できず、延び延びになっています。

・そのほか、CFすずかけ台駅前の特定建築物等定期調査報告業務対応は9月中旬からとなる予定です。

・公的補助事業利用の大規模修繕工事への支援活動

①前号で報告したスカイビュー戸塚の大規模修繕工事に国交省補助事業「長期優良住宅化リフォーム推進事業」を組み合わせたプロジェクト支援事業を6月契約済

②同様に、ライオンズガーデン百合ヶ丘(14F、267戸、築35年)は大規模修繕工事実施の事前検討会を始めた。

□建築技術誌10月号(9月17日発売)サーツ欄掲載

・安部重孝：日中建築構造技術交流会について

・小畑晴治：高経年の集合住宅でのQOLに自信を！

□余滴：蛸を見上げる坊主頭かな 捷三郎